

※著作権取得済み

エスプールプラス

障がい者雇用を促進

エスプールプラス 約1万3500平方メートル（東京都千代田区、和の敷地面積を持つピエ田一紀社長）は、障がい者雇用の促進を狙って、整備。現在は7社の企業が利用し、計34人の障がい者が働く。大阪府は6月に開園した。園した大阪府摂津市の屋内型農園（13社が利用）に続き2件目だ。

障がい者の社会参画や地域共生の観点から、その活動は注目される。複数の自治体と連携も図り、大阪では枚方市と障がい者の就労を支援する連携協定を結ぶ。同社は「就労を望む障がい者の場をしっかりと作っていきたい」と今後も貸農園の展開を推進する。



障がい者雇用する貸農場の全景（大阪府枚方市、エスプールプラス提供）

同社が企画・開発した貸農園は11年に千葉県で始まり、関東圏から中部圏、関西圏へ展開、現在は全国30カ所を超える。約400社が利用し、約2400人の障がい者の雇用を創出した。